

令和7年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 添田 智

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事由
数学	61・啓林館 未来へひろがる数学	<ul style="list-style-type: none"> ○ QRコンテンツが充実している。授業でも家庭でも活用できるコンテンツが多数ある。また、動かし操作して思考力を育てるシミュレーション型コンテンツや問題解説動画、スライドショー、プログラミングなどコンテンツの種類も豊富である。 ○ 問題数が豊富かつ多様である。「例」「例題」「問」「練習問題」をはじめ、章末問題「学びを確かめよう」「学びを身につけよう」では基礎的な内容から応用力を問う内容まで設定されている。また「数学の広場」「力をつけよう」では学んだことの総仕上げができるように配慮されている。 ○ 「自ら問題を発見し、解決し、深める力の育成」に役立つ配慮がなされている。各単元の「○○の利用」において「ステップ方式」の課題が配置されている。全学年で継続して、この「ステップ」を繰り返すことで、自ら問題を発見して解決し、解いた問題をさらに深める態度の育成が期待できる。 ○ 小中の接続を意識した配慮が見られる。算数の学習内容に関連する内容を学ぶ際には「ふりかえり算数」、算数で学んだことを発展させる「ひろげよう」、算数で学んだことのうち、苦手とされる内容を確認できる「学びをふりかえろう」。生徒が主体的に振り返り、スパイラルな学習を行うことができる。 ○ 全国学力・学習状況調査で判明した課題への対応が見られる。同じ流れで考える場面を設け「筋道立てて説明する力」、活用型の問題を設定し数学的な表現を用いて「判断の理由を説明する力」を身に付けられるように配慮されている。また、言語活動の場面も多数配置され、分量も内容も適切である。 ○ 様々な教育課題への配慮がされている。SDGs、消費者教育、環境教育等に関連した題材が全学年で配置されているだけでなく、理科、保健・体育、美術等の教科横断的な題材も配置されている。また、マルチリンガル教科書が用意されていて、英語を始め中国語、タイ語、スペイン語など10か国語に対応している。(有料・別売) ○ 紙面構成が生徒にとって見やすくかつ読みやすく配慮されている。ユニバーサルデザインフォント(字体)、カラーユニバーサルデザイン(配色)を考慮し、「例」「例題」をはじめ学習内容やポイントとなる事項が分かりやすいように工夫されている。